

第 7 章 計画の推進に向けて

- 1 計画の推進にあたって
- 2 計画の進行管理

序章 計画の策定にあたって

第1章 現況特性の把握

第2章 都市づくり上の課題の整理

第3章 都市づくりの理念と基本目標

第4章 将来都市構造

第5章 都市づくりの方針

第6章 地域別構想

第7章 計画の推進に向けて

第7章 計画の推進に向けて

1 計画の推進にあたって

(1) 協働による都市づくりの推進

人口減少、地方創生、Society5.0、市民ニーズの多様化・高度化等、行財政運営は大きな転換期を迎えています。これからのまちづくりは、これまで以上に市民、地域、団体、事業者等と行政が、お互いの特性を認識・尊重し合い、対等な立場で共通する領域の課題の解決に向けて協力し取り組む必要があります。

今後の都市づくりにあたっては、市民、地域、団体、事業者等と行政が、互いに力を合わせ、都市や地域の抱える問題等を効果的に解決していくことが求められます。

■市民の役割

市民は、広報誌やホームページ等を活用し、都市づくりに関する情報を収集し、各種計画づくりや都市づくりの実践の場への参加することにより、都市づくりの取組に計画段階から参画し、都市や地域の課題を解決する主体の一員としての役割を担います。

■地域・団体・事業所等の役割

地域の活動を通じて、地域の課題は、地域が主体となって自らで解決していく自律的な都市づくりを進めます。

また、公共空間の活用や維持・管理等にあたり、民間主体の活動や取組の促進、民間の資金やノウハウの活用についても検討し、民間活力を活かした公民連携による都市づくりを推進していきます。

■行政の役割

市は、市民をはじめ多様な主体との協力、連携を深めていくとともに、総合的かつ効率的なまちづくりを着実に推進する必要があります。また、地域別構想や地域別ワークショップでのまちづくりの取組みアイデアを広く周知すること等により、市民等の自発的な取組を促進します。

(2) 関係機関等との連携

国・県をはじめとする関係機関と必要な事項について協力を要請する等の調整を図り、適切な連携のもとに効果的で効率的に事業を推進します。

(3) 関連計画との連携

第6次日進市総合計画を始め関連する諸計画と連携して、本計画に掲げる施策を推進します。

0 計画の策定にあたって

1 現状特性の把握

2 都市づくり上の課題の整理

3 都市づくりの理念と基本目標

4 将来都市構造

5 都市づくりの方針

6 地域別構想

7 計画の推進に向けて

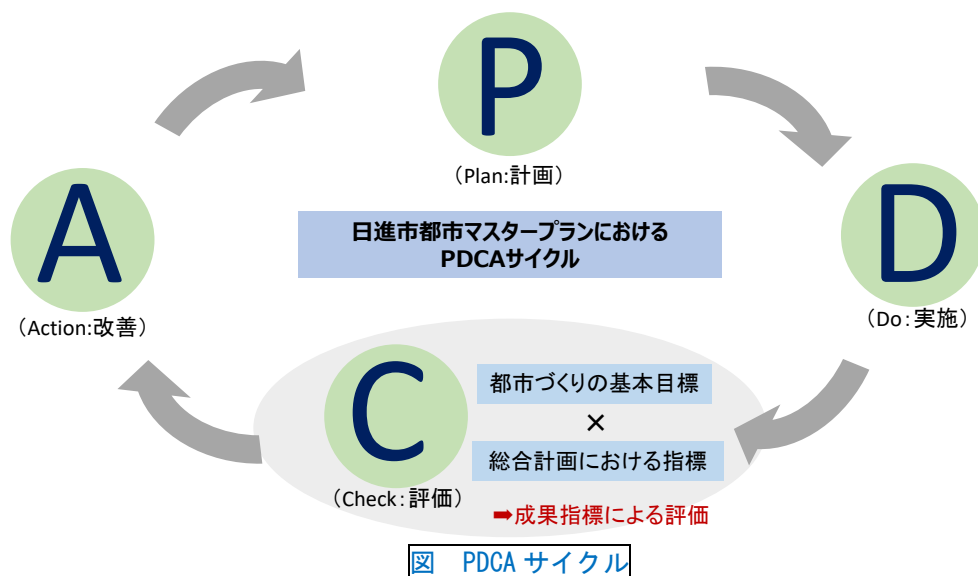
8 参考資料

2 計画の進行管理

(1) 進捗状況に対応した見直しの検討

本計画は、長期的な視点から将来の本市の姿を展望しつつ、都市づくりに関する基本的な方針を定めたもので、全体構想では、概ね 10 年以内に優先的に取り組むべき施策の方針を定めています。

そこで、上位計画である「第 6 次日進市総合計画」で掲げられた基本成果指標を用いて、計画に掲げた 5 つの都市づくりの基本目標の進捗状況を把握していきます。また、基本目標ごとの都市づくりの方針の取組実績を確認し、各部署が計画の達成状況について情報共有し、計画の見直しや改善策の検討につなげていきます。(PDCA サイクルによる進行管理)



(2) 社会経済情勢等の変化に対応した見直しの検討

上位計画である総合計画に大きな変更が生じた場合や、特定生産緑地指定事務に伴う農地から宅地への転用状況、今後の社会経済情勢の変化、協働による地域別の取組み等に伴い新たな課題や市民ニーズへの対応が必要となった場合には、必要な時期を見定めた上で、計画の見直しを行います。

また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような新たな感染症の影響により、職住をはじめとするライフスタイルに変化が生じ始めていることから、様々なニーズ、変化に対応した都市づくりのあり方や公共空間のマネジメントのあり方等、新たに都市計画に求められる役割を踏まえた見直しを必要に応じて行います。

表 都市づくりの基本目標×第6次日進市総合計画における指標

都市づくりの基本目標	第6次日進市総合計画			
	指標	現状値 2020年度 (令和2年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
1 快適性の高い持続可能な都市づくり 生活利便施設の充実と誰もがアクセスしやすい中心拠点・鉄道駅周辺の都市機能の活性化により市街地環境の質の向上を目指します。また、都市施設の計画的な維持修繕、長寿命化を行い効率的な都市運営を行い、将来にわたって住みやすい都市づくりを目指します。	車道の利便性に対する満足度	37.8%	40.0%	42.0%
	歩道の利便性に対する満足度	24.2%	26.0%	27.0%
	公共交通の利便性に対する満足度	25.6%	27.8%	30.0%
	くるりんばすの利便性に対する満足度	12.5%	17.5%	22.5%
	市内3駅の鉄道乗降客数	1,638万人	1,649万人	1,659万人
2 産業活力のある都市づくり スマートインターチェンジの整備等による広域交通体系へのアクセス利便性の確保や既存産業の拠点強化・充実、就業の場となる新たな産業拠点の形成や生産性の高い優良農地等の保全により、時代に合った産業活力を持ち続ける都市づくりを目指します。	大型店舗の立地に対する満足度	49.3%	52.5%	55.0%
	人に紹介したいと思う観光資源がある市民の割合	11.5%	16.5%	21.5%
	観光レクリエーション資源・施設における利用者数(観光入込客数)	502,960人 (2019年度 (令和元年度))	834,000人	1,019,000人
	製造品出荷額	1,126百万円 (2019年 (令和元年))	1,126百万円	1,176百万円
	市内農業産出額	66,000万円 (2018年 (平成30年))	67,000万円	68,000万円

0 計画の策定にあたって

1 現状特性の把握

2 都市づくり上の課題の整理

3 都市づくりの理念と基本目標

4 将来都市構造

5 都市づくりの方針

6 地域別構想

7 計画の推進に向けて

8 参考資料

都市づくりの基本目標	第6次日進市総合計画			
	指標	現状値 2020年度 (令和2年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
3 ふれあいにぎわう都市づくり 既存ストックや商業施設、地域振興施設等を活かした多様な市民がふれあいにぎわう市民交流の場の充実や市外の交流人口を呼び込むための拠点の整備等により、高齢化が進行する中で地域を元気づけるとともに、地域コミュニティが維持・活性化され、全ての人の個性が輝いてふれあいが生まれる都市づくりを目指します。	宅地の供給に対する満足度	22.6%	26.1%	28.7%
	安心して子育てできる環境であると感じる市民の割合	63.6%	66.0%	70.0%
	地域が支え合って暮らしていると思う市民の割合	35.7%	38.0%	40.0%
	生きがいを感じている高齢者の割合	57.5%	59.0%	60.0%
	年間商品販売額(卸売、小売業)	1,488億円 (2016年 (平成28年))	1,623億円	1,698億円
	自分の人権が尊重されていると思う市民の割合	57.4%	60.0%	65.0%
4 安全安心な都市づくり 地域と連携した防災・減災対策の充実や狭あい道路の改善、無秩序な開発の抑制や空家、低・未利用地の利活用等により、都市防災力を強化します。また、日常生活を支える交通機能や道路・公園等の都市施設の質の向上により、市内交通事故(人身)発生件数(人口1,000人あたり)をつくる等、全ての人が安全安心に暮らせる都市づくりを目指します。	災害対策に対する満足度	28.5%	38.0%	48.0%
	交通安全に対する満足度	35.5%	39.0%	42.5%
	空家対策に対する満足度	9.3%	11.1%	12.9%
	市内交通事故(人身)発生件数(人口1,000人あたり)	3.7件 (2019年度 (令和元年度))	3.2件	2.8件
	住宅の耐震化率	88.6% (2019年度 (令和元年度)末)	95.0%	97.0%

都市づくりの基本目標	第6次日進市総合計画			
	指標	現状値 2020年度 (令和2年度)	目標値 2025年度 (令和7年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
5 環境に優しい都市づくり 東部丘陵地に広がる緑地や市街化区域を取り巻く農地等、豊かな自然環境や水辺環境を保全し、市民協働や民間活力の活用等により良好な景観の形成を目指します。また、利便性の高い交通機能や都市構造を構築し、環境負荷の小さい都市づくりを目指します。	田畑や森林等の景観に対する満足度	55.3%	58.3%	61.3%
	緑化の推進に対する満足度	42.2%	45.1%	48.1%
	お住まいの周辺の居住環境に魅力を感じると考えている市民の割合	60.2%	63.6%	66.1%
	自宅周辺の公園をよく利用している市民の割合	26.1%	27.7%	29.3%
	身近なところに水に親しめる場所があると思う市民の割合	33.5%	35.6%	37.8%

0 計画の策定にあたって

1 現状特性の把握

2 都市づくり上の課題の整理

3 都市づくりの理念と基本目標

4 将来都市構造

5 都市づくりの方針

6 地域別構想

7 計画の推進に向けて

8 参考資料